



歴史まちづくり

準備号

2021.7

京都市都市計画局景観政策課

京都市歴史的風致維持向上計画（2期）が国の認定を受けました！

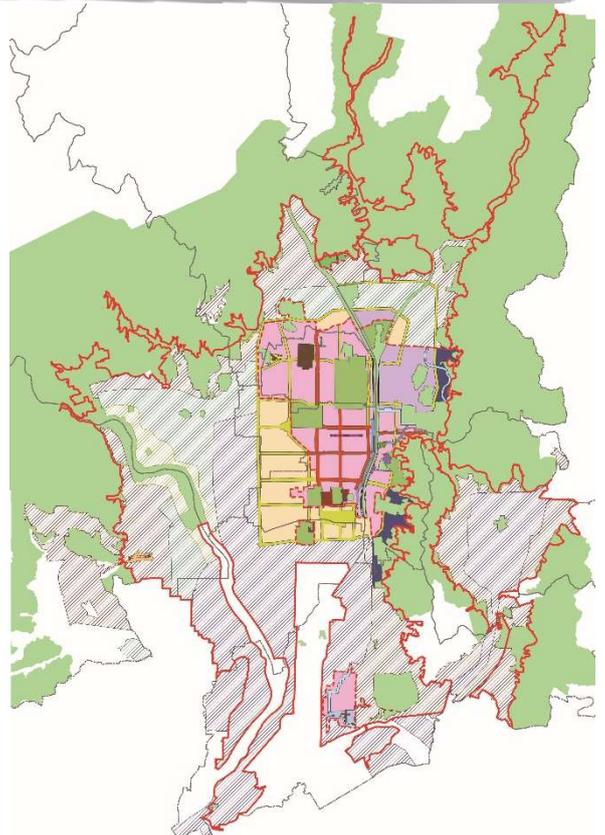
歴史まちづくり法は、市町村が策定する歴史的風致維持向上計画（歴史まち計画）を主務大臣（文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）が認定し、歴史的風致の維持向上を図ろうとする取組を支援するものです。

京都市では、平成21年11月に歴史まちづくり法に基づく「京都市歴史的風致維持向上計画（1期）」を策定し、歴史文化を活かしたまちづくりを進めてきました。引き続き、本市の歴史的風致の維持及び向上を図るため、「京都市歴史的風致維持向上計画（2期）」を策定し、3月29日に主務大臣（国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣）から認定を受けました。

2期計画では、京都市の維持向上すべき歴史的風致を充実させ、市街地の大部分を「重点的に歴史まちづくりを進める区域（重点区域）」に設定しました。

計画の概要

- (1) 計画期間 令和3年度～令和12年度（10年間）
- (2) 重点区域 歴史的市街地地区 約13,575ha
- (3) 維持向上すべき歴史的風致
 - ① 祈りと信仰のまち京都
 - ② 暮らしに息づくハレとケのまち京都
 - ③ ものづくり・商い・もてなしのまち京都
 - ④ 文化・芸術のまち京都
 - ⑤ 伝統と進取の気風の地
 - ⑥ 京の街道とその周辺
 - ⑦ 千年の都を育む水・土・緑



2期計画の重点区域（赤線内）

歴史まちづくりでは、京都市の歴史まちづくりの魅力を発信していきます。

「歴史まちづくり」では、京都市歴史的風致維持向上計画（歴史まち計画）に掲載している、京都の歴史的風致を紹介します。

歴史まちづくりの構成

- ・歴史まちピックアップ（歴史まちに関する最近の話題）
- ・歴史まち人からの便り（歴史まちに関わる人からの寄稿）
- ・わが町・わが行事（京都の歴史的な行事を紹介）
- ・歴史まち処
- ・歴史まち事業の紹介
- ・京都検定にチャレンジ！

準備号は、歴史まち計画の意義などを紹介します。

歴史的風致とは？

「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」と定義されています。

活動
(祇園祭)

建造物
(京町家)



（歴史的風致のイメージ）京町家が残る旧市街地において祇園祭の山鉾巡行などの伝統行事が実施され、良好な市街地を形成している

歴史的風致維持向上計画の意義

「歴史的風致」は、ハードとしての建造物と、ソフトとしての人々の活動を合わせた概念です。

そのため、単に歴史上価値の高い建造物が存在するだけではなく、地域の歴史と伝統を反映した人々の活動が展開されていて初めて歴史的風致が形成されるものとし、この歴史的風致を「維持」するのみならず、歴史的な建造物の復原や歴史的風致を損ねている建造物の修景等の手法によって、積極的にその良好な市街地の環境を「向上」させることを目的としています。

歴史的風致維持向上計画では、重点区域を設定し、

歴史的な町並みにおける道路修景整備や歴史的建造物の修理・修景などを計画に位置付けることで、国から財政的支援を受けることができるようになります。



京都市の維持向上すべき歴史的風致の紹介

京都市の維持向上すべき歴史的風致は、京都を育んだ豊かな自然と、1200年を超える首都の歴史と文化が織りなす都市空間および歴史文化遺産群、伝統を受け継ぎ革新を求める人々が営む文化や行事、芸術が一体となって形成している、日本はもとより、

世界にも類を見ない市街地の環境です。

本市には、中心部だけでなく周辺部にも広く歴史的風致が分布しています。2期計画では、1期計画で設定した6つの歴史的風致を発展させて7つの歴史的風致を設定しました。

祈りと信仰のまち京都の歴史的風致



身近な祈りの場である寺社で奉納される芸能や、世界遺産をはじめとする寺社に参詣する人々とそれを迎える門前町の人々の営みが受け継がれています。

伝統と進取の気風の地の歴史的風致



琵琶湖疏水における水辺の活動や近代の商業活動の継承など、明治以降の近代化の推進による伝統と進取の気風に培われた営みが受け継がれています。

暮らしに息づくハレとケのまち京都の歴史的風致



四季を彩る祭りや年中行事、京町家における暮らしの知恵など暮らしに息づくハレとケの営みが受け継がれています。

京の街道とその周辺の歴史的風致



鞍馬や貴船、大原、山科盆地など京と密接に関わってきた旧街道沿いにおける、伝統に培われた祭りや日々の暮らし、生業が受け継がれています。

ものづくり・商い・もてなしのまち京都の歴史的風致



伝統を受け継いだ焼物や織物などのものづくり、問屋、市場などにおける商い、花街における舞・踊りなどのもてなしの営みが受け継がれています。

千年の都を育む水・土・緑の歴史的風致



周辺の山林や河川、洛西用水や洛東用水などの農業用水、これらの水により潤される農地における祭礼、山々や農地での生業が受け継がれています。

文化・芸術のまち京都の歴史的風致



能・狂言や茶の湯、生け花 美術などの文化・芸術活動、そしてそれを支える道具商や和菓子づくりなど様々な文化・芸術・創作活動が受け継がれています。

この7つの歴史的風致は代表例であり、京都市内は、千二百年の時を超えて、数多くの歴史的風致が形成されています。これらの歴史的風致を維持及び向上させていくことが、歴まち計画の役割です。